

# 第8回 血球貪食症候群研究会 プログラム

16:05~16:15 CSL ベーリング プレゼンテーション

16:15~16:20 開会挨拶 当番幹事： 聖マリアンナ医科大学 三浦偉久男

16:20~17:10 一般演題 (発表8分 質疑4分)

(発表順未定) 一般検査から見た FHL と二次性 HLH の特徴と病態の考察  
京都大学大学院医学研究科 発達小児科学 八角高裕

Late-onset FHL3 2 症例の検討  
京都大学大学院医学研究科 発達小児科学 堀 雅之

骨髄非破壊的同胞間骨髄移植後、混合 chimera となった家族性血球貪食症候群の 1 例  
九州大学大学院医学研究院 成長発達医学 赤峰 哲

High sIL-2R/ferritin ratio is a useful marker for diagnosis of lymphoma-associated hemophagocytic syndrome: a single center analysis.  
市立熊本市市民病院 血液・腫瘍内科 辻 隆宏

17:10~17:20 Break

17:20~18:20 特別講演 座長： 聖マリアンナ医科大学 三浦偉久男

造血幹細胞移植後の血球貪食症候群のメカニズム  
北海道大学大学院内科学講座 血液内科学分野  
教授 豊嶋崇徳先生

18:20~18:30 閉会挨拶 当番幹事： 聖マリアンナ医科大学 三浦偉久男  
代表世話人： 愛媛大学 石井榮一  
市立熊本市市民病院 津田弘之

.....

日	時	2013年3月16日(土)	16:05~18:30
会	場	ベルサール八重洲 3F	「Room 1+2+3」
当	番	幹	事
参	加	費	3,000円

\*EB ウイルス感染症研究会と合わせて  
\*学生 1,000円

\* 研究会終了後、合同情報交換会を開催いたします。

共催 血球貪食症候群研究会 ・ CSL ベーリング株式会社